



## 2023年度「工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀」事業 講演会を開催

### 【概要】

2023年12月20日（水）に、2023年度「工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀」事業の一環として、佐賀県工業連合会と協同して対面による講演会を理工学部で開催しました。

### 【本文】

理工学部・理工学研究科では、佐賀県工業連合会と協同して「工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀」を設立し、佐賀県の工業系人材を高度化・グローバル化を促進し、佐賀地域の工業界・産業界の活性化を目指して事業活動を行っています。

その一環として、2023年12月20日（水）に理工学部大学院棟301講義室にて、講演会を開催しました。今回は新型コロナ禍が明けた最初の事業であり、対面により開催しました。また、2015年度に県内企業の代表取締役を講師としてお招きして以来、久しぶりとなる代表取締役をお迎えした講演会でした。

参加者は、本学理工学研究科の本コンソーシアム事業関係者、佐賀県工業連合会から選出いただいた2名の講師および事務局、本学理工学部・理工学研究科の学生の20名でした。

講演会に先立ち、佐藤 和也 理工学部長より挨拶と本コンソーシアム事業についての説明がありました。引き続き、釣り具販売を手掛ける株式会社まるきんの直営工場である株式会社キザクラ 代表取締役の 草野 剛 様にご講演いただきました。釣り具メーカーとしては珍しく、釣り具の企画から設計と製造、さらにはB to Cの販売だけではなく他の釣り具メーカーへの卸しも行うB to Bのメーカーであることが紹介されました。企画に必要なアイデアは社員のみならず、顧客である釣り人からの年間400件にも達するコメントを受け、開発に活かしているという説明がされました。

2番目に、森鉄工株式会社 代表取締役専務の 森 孝信 様よりご講演いただきました。「各種液圧プレス・鍛圧機械の設計・製作」について説明がなされました。特に、独自開発したファインブランキングプレス法は複雑な形状の部品製造に適しており、従来法では複数のステップで製造されていた部品が一度に製造され、設備のみならず時間・コスト・エネルギー的にもメリットがあることが紹介されました。また、海外にも事業を展開し、優れた製品を輸出し貢献していることも紹介されました。さらに、それらの優れた技術により多くの受賞歴があることも紹介されました。

最後に、福田 修 学部長補佐より挨拶があり、盛況のうちに閉会しました。



参加者に企業説明をする草野様



学生からの質問に対応する森様